

Effect of probiotics on mother-to-neonate vertical transmission of group B streptococci: A prospective open-label randomized study

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2022-06-09 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 笠井, 悠里葉 メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002795

授与機関名 順天堂大学

学位記番号 甲第 2508 号

Effect of probiotics on the vertical transmission between mother and neonates of Group B Streptococci : A prospective open-label randomized study

Probiotics による B 群溶血性連鎖球菌の母子伝播予防効果に関する検討: 前方視的オープンラベルランダム化比較試験

笠井 悠里葉 (かさい ゆりは)

博士 (医学)

論文審査結果の要旨

本論文は、周産期領域で新生児の侵襲性感染症の主要起因菌である B 群溶血性連鎖球菌 (Group B *Streptococci*; GBS) の母子伝播抑制において probiotics の有用性を検討している。妊娠後期スクリーニング陽性となった妊娠女性を probiotics である *Lactobacillus reuteri* を摂取する Probiotics 群 (n=25) と摂取しない Control 群 (n=32) に分け、1 か月健診の際の新生児の GBS 保菌率を調査した。統計学的有意差は認めてはいないものの、probiotics 摂取群が GBS の保菌率が 8%なのに対し、Control 群が 28%と Probiotics 群の保菌率が低い結果であった ($p = 0.0902$)。probiotics の摂取による母体の GBS 保菌率の低下の既報はあるが、probiotics である *L. reuteri* が母児間の GBS 伝播について抑制する可能性を初めて明らかにした臨床的に意義ある論文である。

よって、本論文は博士 (医学) の学位を授与するに値するものと判定した。